

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	生きる力を育む学校づくり推進事業		
事業担当	学校教育部 教育指導課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	幼稚園、幼児、小・中学校、児童・生徒	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
各学校、園が地域に根ざし、幼児・児童・生徒の実態に即した生きる力をはぐくむ学校づくりを推進していくことで、幼児・児童・生徒の自ら学ぶ力や心豊かに生きる力がはぐくまれています。		幼児・児童・生徒の生きる力を育む学校づくりを推進するため、各学校において、ふれあい教育、総合的な学習の時間、芸術鑑賞教室等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ふれあい教育推進実施校(園)数			単位	校
	説明・算定式	公立幼稚園:5園、小学校:28校、中学校:15校				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	48	48	48		
活動指標②	指標名	芸術鑑賞教室実施校数			単位	校
	説明・算定式	小学校:28校、中学校:15校				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	43	43	43		
成果指標①	指標名	生きる力を育む学校づくり推進事業に係る学校からの評価			単位	点
	説明・算定式	ふれあい教育、総合的な学習の時間、芸術鑑賞教室等についての学校からの評価(5段階)の平均値				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	4.3	4.2	4.3		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
学校や地域の特性を生かした教育課程を編成し、ふれあい教育や総合的な学習の時間の推進、芸術鑑賞の推進、体験学習の充実等を図る中、幼児・児童・生徒の豊かな人間性と生きる力をはぐくむ、学校づくりの推進に取り組みました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	各学校の教育目標の達成をめざし、地域の教育力を生かして、幼児・児童・生徒の自ら学ぶ力や心豊かに生きる力を育てるため、一層の推進が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	ふれあい教育や総合的な学習の時間の推進及び芸術鑑賞教室、生き方を学ぶ講演会開催の支援を行うことにより、人間性豊かな幼児・児童・生徒の育成が図られています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	幼児・児童・生徒の「自ら学ぶ力」や「心豊かに生きる力」を育てるための各学校の主体的な取組みに対する支援を行い、人間性豊かな幼児・児童・生徒の育成が図られています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	各学校が、子どもたちの実態や地域性、自然環境等を生かした内容を組み入れた、主体的な取組みを行えるよう適切な予算配分を図る必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 各学校(園)が、子どもたちの実態や地域の特性を生かした内容を組み入れた、主体的な取組みが行えるよう予算配分を考 えることや、各校(園)での取組み状況を発信していくことが課題です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		ふれあい教育の推進、芸術鑑賞教室の実施	ふれあい教育の推進、芸術鑑賞教室の実施	ふれあい教育の推進、芸術鑑賞教室の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	100	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	36,390	36,071	36,780
事業費 (A)		36,390	36,171	36,780
執行率 (%)		99.59	98.78	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 ふれあい教育の推進を幼稚園・小学校・中学校で、総合的な学習の時間を小学校・中学校で、校外学習の推進を小学校で、芸術鑑賞と中学校各種大会・コンクール参加を中学校で、実施します。
課長コメント 各学校が、子どもたちの実態や地域性、自然環境等を生かした内容を組み入れた主体的な取組みを行うことができるよう、予算措置を図るとともに、適切な予算額の充当を行いたいと考えます。